木谷小学校　コミュニティスクールだより　　令和６年６月 17 日発行　第 18 号

木谷の風

コミュニティ・スクール推進員　福田　みき

地域の方から学んだこと

【地域探検　重松神社　３年生　　６月 12 日（水）】

大成宮司さんが，３年生にわかりやすく重松神社について説明してくださいました。重松神社は「安芸津松町史」によると 1336 年から 1392 年の間に建てられたのではないかと書かれているそうです。拝殿には神様にお供えする品物がきれいに置かれていました。拝殿の中で，お参りで身を清める２つのやり方やお祭りについて，今までの歴史などわかりやすくお話してくださいました。特に「三種の神器とは？」については初めて知った子供たちが多く真剣に聞いていました。三種の神器とは，【鏡・まがたま】とあと一つはお子様に是非聞いてみてください。宮司さんがプリントを何枚も用意してくださり，初めて知ることに興味関心が高まった３年生でした。

【町たんけん　藤田サッシさん　２年生　６月 12 日（水）】

藤田さんは，作業場で仕事の内容や使っている道具や機械について丁寧に説明してくださいました。窓ガラスを落とさないようにする吸盤や，正確に穴をあけるドリルや，直線になる線や直角になる線がどこにおいても出てくる機械や，必要な距離を測ることができる機械や，命を守るハーネスなども見せてくださいました。図面に沿って１ミリメートルも間違えないでつくる大変さと喜びを話してくださいました。きれいに機械や道具が整頓されてある作業場でした。

藤田サッシさんの自動車のドアに「住む人と使う人の心を大切に」という言葉があります。この言葉の「人の心を大切に」とはどんなことなのかを考えることができました。「人に身になって仕事をする」ということは，とても素敵なことで，大きな喜びにつながりますね。